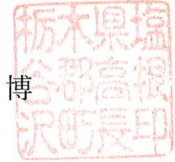


高総第 147 号
令和 5 (2023) 年 9 月 14 日

高根沢町議会議長 神 林 秀 治 様

高根沢町長 加 藤 公 博



「消防団と議員とのカフェ・ド・ギカイ」からの提言に対する回答について

時下益々のご清祥のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町政運営に関しご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 5 年 6 月 8 日付け高議第 35 号により提言のありましたことにつきまして、別添のとおり回答いたしますので、ご査収くださいますようお願いいたします。

①詰所の整備

詰所は建設してからかなりの年数がたっており老朽化が進んでいる。台風時などには長時間待機することになる為、下記の3点について各詰所の状況に応じた検討を行って欲しい。

- ① 耐震性について問題がないか確認すること。
- ② トイレのない詰所に、必要に応じてトイレを整備すること。
- ③ 駐車場がなく団員の参集に支障をきたしている詰所に、駐車場を用意すること。

【回答】

各詰所が抱える課題は町も認識しており、ご提言のありました3点の事項については以下のとおり対応する予定です。

- ① 耐震性については、令和6年度に詰所や可搬車庫など合計10棟の消防団関連施設を調査いたします。
- ② トイレが未設置の詰所については、対象の分団と施設の管理を含めた設置意向を協議したうえで、判断いたします。
- ③ 駐車場が不足している第5分団については、火災等の緊急時は詰所付近の方にご協力いただき駐車スペースを確保しています。また、必要に応じて役場駐車場の利用を認めており、今後も消防団の活動が円滑に行えるように支援を継続いたします。

なお、消防団の詰所は防災上重要な役割を担う施設であることから、引き続き町としても定期的な点検や維持管理を図りながら施設の安全確保に努めてまいります。

また、抜本的な対策として施設の改修や更新を行う際は、人口減少に伴い顕著となる団員不足等の課題を含めて消防団の皆様と協議し、将来を見据えた計画的な整備に取り組んでまいります。

②活動の周知

消防団員は、地域のためにとの思いが活動の大きな原動力となっている。しかし、地域住民にその活動が十分に伝わっていないと感じているようである。

活動が住民に理解されるよう、町の広報誌に取り上げたり、夏季点検や通常点検などの行事に住民が参加できるようにしたりするなど、広報活動を積極的に行うこと。

【回答】

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っており、その活動が町民に正しく伝わらなければ、地域における防災力の低下に繋がることとなります。

令和2年度から4年度までは、新型コロナウイルスの影響により消防団の活動を限定して行っておりましたが、今年度は、4年ぶりに町議会議員や町自治会長等の多くの皆様にご出席いただき、夏季点検並びにポンプ操法競技会を実施し、町広報紙7月号に掲載しております。また、10月に予定されている通常点検についても同紙への掲載を予定しており、消防団活動の様子を広く周知していきたいと考えております。

ご提言のありました住民理解を深めるための住民参加型の消防団活動につきましては、活動の主体である消防団の皆様と共に考えてまいります。そのうえで、広報の機会の拡大や広報紙以外の情報発信についても、消防団が持続可能な形で実現できるよう支援を継続してまいります。